

(2) 中学部運営計画

ア 学部目標

様々な状況において、身に付けた力を活用できるようにする。

イ 運営方針と具体的な取り組み

- (ア) 自己の適性に応じた進路実現のため、自分を理解し、自分で選択し、自分で決定する力を養うなど、自立活動を中心とした指導の計画、実践、評価を行う。
- (イ) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させた授業実践を行うため、ICT を効果的に活用できるよう、活用方法や活用場面を検討する。
- (ウ) 地域の物的資源・人的資源を活用し地域貢献する学習や、児童生徒の経験を高める活動を充実させるため、砂入りペットボトル活動、町内清掃、作業学習、V S P 活動などの学習の更なる検討を行う。
- (エ) キャリア教育の視点に立った計画的な進路指導を進めるため、特別活動の指導内容、指導方法を検討し、改善、評価を積み重ねていく。

ウ 指導のねらい

指導の形態		ねらい
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	・ 基本的生活習慣の育成を図る。 ・ 日常生活や社会生活をする上で必要な資質・能力を育む。 ・ 役割を意識し、自主的に取り組もうとする態度を養う。
	生活単元学習	・ 日常生活に必要な知識、技能、態度を身に付け、自立的な生活を営む態度や習慣を養う。 ・ 他の生徒と協力し合う活動を通して、協調性や社会性を伸ばし、生活経験の拡大を図る。
	作業学習	・ 作業活動を通して、役割を担って活動することの大切さを知り、将来の自立と社会参加に向けて必要とされる基礎的な知識・技能・態度を養う。 ●働く喜び、やりがい、意欲、習慣、態度 ●役割の理解と分担、遂行 ●他者との協力 ●他者とのコミュニケーション（挨拶・報告・連絡・相談） ☆時間を守ること ☆準備、片付け、清掃 〔☆は重点としてねらう項目〕

教科別の指導	国語	・日常生活に必要な国語についての理解を深め、他の生徒や身近な人との関わりを通して、自己表現や他者理解の態度を養うとともに伝え合う力を高め、それらを活用する能力と態度を育てる。
	数学	・日常生活に必要な数量や図形に関する知識や仕組み、その特性の理解を深め、それらを取り扱う能力や数学的に物事をとらえる態度を育てる。
	音楽	・表現及び鑑賞の活動を通して、音楽についての興味や関心を深め自己表現力を高めるとともに、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。
	美術	・様々な造形活動を通して、自分の思いや考えを表現したり、他者の作品を鑑賞したりする能力を高め、豊かな情操を養う。
	保健体育	(保健体育) ・いろいろな体の動きや簡単な競技を通して、運動に親しむ習慣や健康な心身を養うとともに、明るく元気に生活する態度を育てる。 (体力づくり) ・様々な運動を通して運動量を確保し、健康状態の維持・改善を図る。
科道徳	特別の教	・各教科等を合わせた指導において指導内容を具体化し、体験的な活動を通して主体的に活動に参加しようとする意欲や態度、習慣を育て、教育活動全体における道徳教育を補充、深化、統合する。
の時間	総合的な学習	・探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。
特別活動		・集団の一員としての自覚を高める。 ・主体性や社会性を育み集団の中で互いに協力し合い、より良い生活を築こうとする態度を養う。
		・学級における自分の役割を知り、協力して物事に取り組む態度を育てる。 ・自分自身のことを知る・分かる力、将来の生活や生き方について考える力を培う。
自立活動		(教育活動全体における自立活動) ・個別の指導計画の目標に基づき、個々の生徒が自立を目指し、障がいによる学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培う。